

## 吸収合併に関する事前開示書類

(会社法第 794 条第 1 項及び会社施行規則第 191 条に基づく書面)

2024 年 1 月 23 日

ポラリス・ホールディングス株式会社

2024年1月23日  
東京都千代田区岩本町一丁目12番3号  
ポラリス・ホールディングス株式会社  
代表取締役 辻川 高寛

当社は、株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城（以下「VTH 宮城」という。）との間で2023年12月20日に締結した合併契約書に基づき、2024年3月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、VTH 宮城を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」という。）を行うことといたしましたので、以下のとおり事前開示をいたします。

1. 吸収合併契約の内容

別紙1のとおりです。

2. 合併対価の相当性に関する事項

本合併は完全親子会社間の合併であるため、本吸収合併に際して株式その他の対価の交付は行いません。また、本合併による当社の資本金及び資本準備金の額の増加はありません。

3. 本吸収合併に係る新株予約権の定めに関する事項

該当事項はありません。

4. 吸収合併消滅会社における最終事業年度に係る計算書類等の内容

別紙2のとおりです。

5. 吸収合併消滅会社における最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

6. 合併当事会社における最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象に関する事項

① VTH 宮城

該当事項はありません。

② 当社

該当事項はありません。

7. 本吸収合併が効力を生ずる日以降における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本吸収合併の効力発生日後の当社の資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本吸収合併後の当社の収益状況及びキャッシュ・フローの状況について、債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておりません。したがって、本吸収合併後における当社の債務について履行の見込みがあるものと判断いたします。

以上

<別紙 1 >  
合併契約書

# 合 併 契 約 書

印 収  
紙 入

ポラリス・ホールディングス株式会社（以下「甲」という。）と株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城（以下「乙」という。）とは、次のとおり吸収合併契約（以下「本契約」という。）を締結する。

（合併の方法）

第1条 甲及び乙は、甲を吸収合併存続会社、乙を吸収合併消滅会社として、吸収合併（以下「本件合併」という。）を行う。

2 本件合併に係る甲及び乙の商号及び住所は、以下のとおりである。

① 甲：吸収合併存続会社

商号：ポラリス・ホールディングス株式会社

住所：東京都千代田区岩本町一丁目12番3号

② 乙：吸収合併消滅会社

商号：株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城

住所：宮城県名取市上余田千刈田555番1

（合併対価の交付及び割当て）

第2条 甲は、乙の全株式を保有していることから、本件合併に際して、金銭等の一切の対価を交付しない。

（増加する資本金及び準備金）

第3条 本件合併により、甲の資本金及び準備金の額は増加しない。

（効力発生日）

第4条 本件合併の効力発生日は2024年3月1日とする。ただし、手続きの進行に応じ必要があるときは、甲及び乙は協議の上、これを変更することができる。

（合併承認決議）

第5条 甲及び乙は、効力発生日の前日までに、本契約の承認及び合併に必要な事項に関する機関決定を行うことを要する。

(権利義務全部の承継)

第6条 甲は効力発生日において、乙の資産及び負債その他一切の権利義務を承継する。

(善管注意義務)

第7条 甲及び乙は、本契約締結後から効力発生日に至るまで、善良なる管理者としての注意義務をもってそれぞれの業務を執行し、かつ一切の財産管理の運営を行い、その財産又は権利義務に重大な影響を及ぼす事項については、あらかじめ甲及び乙協議のうえ、これを実行する。

(合併条件の変更、合併契約の解除)

第8条 本契約締結の日から効力発生日に至る間において、天災地変その他の事由により、甲又は乙の財産又は経営状態に重大な変動が生じた場合は、甲及び乙協議のうえ、本契約を変更し、又は本契約を解除し、本件合併を中止することができる。

(協議事項)

第9条 本契約に定めるもののほか、本件合併に際し必要な事項は、本契約の趣旨に従って、甲及び乙協議のうえ、これを定める。

上記契約の成立を証するため、本契約書1通を作成し、甲が原本を保有し、乙は原本の写しを保有する。

2023年12月20日

(甲) ポラリス・ホールディングス株式会社  
東京都千代田区岩本町一丁目12番3号  
代表取締役 辻川 高寛

(乙) 株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城  
宮城県名取市上余田千刈田555番1  
代表取締役 辻川 高寛



<別紙2>

計算書類等

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

事 業 報 告

第 11 期

自 2022年4月 1 日

至 2023年3月31日

株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城

# 事業報告

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

当事業年度におけるわが国経済は、ウクライナ情勢などを契機とした資源価格の高騰や急速な為替相場の変動など新たに経済の不安材料が生じておりますが、ウィズコロナに向けた対策が実施され、社会経済活動の正常化が進み、総じて緩やかに回復しつつあるものと考えております。

このような状況のもとで当事業年度の当社の経営成績は、次のとおりとなりました。

当事業年度の売上高 390,459 千円、営業損失 122,917 千円、経常損失 123,141 千円、当期純損失 123,192 千円であります。

当社は、引き続き経営努力に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### (2) 主要な事業内容

当社は、ホテル事業を行っております。

### (3) 主要な営業所（2023年3月31日現在）

本社	宮城県名取市上余田千刈田 5 5 5 番 1
バリュー・ザ・ホテル東松島矢本	宮城県東松島市小松字谷地 2 1 5
バリュー・ザ・ホテル古川三本木	宮城県大崎市三本木南谷地字千刈田 1 4 6

## 2. 会社の株式に関する事項

株式の状況（2023年3月31日）

- |           |         |
|-----------|---------|
| ①発行可能株式総数 | 10,000株 |
| ②発行済株式の総数 | 100株    |
| ③株主数      | 1人      |
| ④株主名      |         |

株主名	持株数（株）	持株比率（％）
株式会社バリュー・ザ・ホテル	100	100.00

## 3. 会社役員に関する事項

取締役の氏名等（2023年3月31日現在）

会社における地位	氏名
代表取締役社長	高倉 茂

計 算 書 類

第 11 期

自 2022年4月 1 日

至 2023年3月 3 1 日

株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城

第11期

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
<b>流動資産</b>	<b>78,811,929</b>	<b>流動負債</b>	<b>37,240,657</b>
現金及び預金	41,289,901	未払金	30,034,608
売掛金	33,278,279	未払費用	2,463,344
貯蔵品	649,924	未払法人税等	72,000
前払費用	1,483,690	前受金	4,056,000
立替金	110,000	預り金	614,705
仮払金	26		
未収消費税	2,130,109	<b>固定負債</b>	<b>2,462,000,000</b>
貸倒引当金	△130,000	長期借入金	2,362,000,000
		資本性劣後借入金	100,000,000
<b>固定資産</b>	<b>10,000</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>10,000</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,499,240,657</b>
出資金	10,000	(純 資 産 の 部)	
		<b>株主資本</b>	<b>△2,420,418,728</b>
		資本金	1,000,000
		利益剰余金	△2,421,418,728
		その他利益剰余金	△2,421,418,728
		繰越利益剰余金	△2,421,418,728
		<b>純資産合計</b>	<b>△2,420,418,728</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>78,821,929</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>78,821,929</b>

# 第 11 期

## 損 益 計 算 書

自 2022 年 4 月 1 日  
至 2023 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	金	額
売上高		390,459,229
売上原価		61,576,178
売上総利益		328,883,051
販売費及び一般管理費		451,800,270
営業損失 (△)		△122,917,219
営業外収益		
受取利息	190	
助成金収入	280,855	
雑収入	402	281,447
営業外費用		
支払利息	499,991	
雑損失	5,000	504,991
經常損失 (△)		△123,140,763
税引前当期純損失 (△)		△123,140,763
法人税、住民税及び事業税	51,100	51,100
当期純損失 (△)		△123,191,863

第11期

株主資本等変動計算書

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

(単位：円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
当期首残高	1,000,000	△2,298,226,865	△2,297,226,865	△2,297,226,865
当期変動額				
当期純損失(△)		△123,191,863	△123,191,863	△123,191,863
当期変動額合計	—	△123,191,863	△123,191,863	△123,191,863
当期末残高	1,000,000	△2,421,418,728	△2,420,418,728	△2,420,418,728

## 第11期

### 個別注記表

自 2022年4月1日  
至 2023年3月31日

#### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

##### (1) 資産の評価基準及び評価方法

###### 棚卸資産

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

##### (2) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

###### 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### (3) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

###### 消費税の経理処理

税抜方式を採用しております。

#### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 100株

#### 3. その他の注記

該当事項はありません。



# 監査報告書

監査役は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第11期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第32条の2に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査役は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年5月29日

株式会社バリュー・ザ・ホテル宮城

監査役 高橋 重行 印